

委員会名	2023年度第3回 生産技術委員会
開催日時	2023年9月14日 15:00-17:30
開催場所	JX 会議室(Google Meet ハイブリッド開催)
出席者 (敬称略)	(現地)吉岡委員長、谷口、中島、久々宇、矢島、桐山、宮田、荒木 (オンライン)山崎副委員長、安達、多田、上野、上谷、小林、村田、佐藤、阿部、 椋平、古井、松本
議事	<p>1. 事務報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名簿更新 <ul style="list-style-type: none"> ➢ INPEX 飯野委員所属先変更。 <p>2. 幹事会報告 宮田委員より幹事会議事概要（第88期5回）が報告された。</p> <p>議題 1. 第88期第4回幹事会議事録が確認され了承された旨報告された。</p> <p>議題 2. 会員の異動（令和5年7月1日～7月31日） 入会1名、退会5名（特別会員2名、正会員3名）、千代田化工の入会が報告された。</p> <p>議題 3. 令和5年度7月次一般会計収支が了承された旨報告された。</p> <p>議題 4. 第88回定時総会・春季講演会・見学会報告 大会収支：全体で120万円程度の黒字となっているが、地方大会特有の助成金及び協賛金の貢献が大きい。 アンケート結果：場所の制約による良し悪しはあった。料金設定、配信も概ね妥当との評価された旨報告。</p> <p>議題 5. 将来像検討会議について 男女共同参画への取組として、リコチャレ参画などの案が示され、資料を基に後藤幹事より説明があった。</p> <p>石油版「資源素材塾」について、：早大栗原教授、京大村田教授との意見交換を実施した。また、モデルとなる資源素材学会から情報収集を開始した。</p> <p>議題 6. 秋季講演会（案）テーマについて 議題については幹事会で作成予定。講師への依頼を開始したことが報告された。</p> <p>議題 7. 24年度総会・春季講演会（見学会）・90周年記念式典の開催・場所について 式典と会場を二か所に分ける案があったが、準備の観点から、会場は一か所の方が好ましいので、現段階では東京大学の施設利用が有力で小寺会長とも視察済み。</p> <p>質疑応答 谷口委員：リコチャレはどんなものか。 宮田委員：男女共同参画を目的とし、理工系女性学生を対象とした企画。登壇者は理工企業で活躍する女性。HPから申し込み可能。 https://www.gender.go.jp/c-challenge/index.html</p> <p>吉岡委員長：将来像検討委員会のヒアリング状況について共有していただきたい。 村田委員：夏の学校は大学2,3年向きかつ数日間の開催で、人材育成の観点では不十分であると考えている。資源素材学会が主催しているような座学の場を提供で</p>

きないかを検討開始した。事業の受け皿をどうするかが問題になっている。なお、JOGMEC 法により、JOGMEC は人材育成を行えないが、過去には東大佐藤先生、早稲田在原先生が経産省のプログラム（平成 23 年度「国際資源開発人材育成事業（石油・天然ガス分野）」）を活用し、JOGMEC が受託者となってこの事業を実施したことがある。しかし、事業終了後は継続する体制がとれていない。

小林委員：東京大学へ小寺会長、事務局山口さんが下見にきて調整中。会場もすでに抑えている。ただし、学内に点在する形となり、会場間の行き来が発生する点では例年と勝手が異なるかもしれない。

3. 理事会報告

吉岡委員長より第 88 期第 3 回理事会議事概要の報告がされた。

審議事項 1: 秋季講演会テーマについて

春季講演会日程は、11 月 8 日東大小柴ホールを仮予約済み。

10:00-17:00 まで時間をとっており、テーマについては多くアイデアがある。

テーマについての議論で、先進的 CCS 事業は個々の詳細の報告は難しいので、JOGMEC や METI から一括して説明したほうが有難いとの意見があった。海外案件は掘り下げたテーマを検討中。

審議事項 2: 第 89 回総会・令和 6 年度春季講演会・90 周年記念式典の開催・場所について

来年度の総会・春季講演会は東京で行うが、これに合わせて 90 周年事業を行うため、会場の確保が急務である。最新状況については、前項の幹事会報告での小林委員からの補足のとおり。

報告事項 1. 会員の異動（令和 5 年 4 月 1 日～5 月 31 日）

宮田委員からの報告の通り。

報告事項 2. 令和 5 年度 4 月次・5 月次一般会計報告

了承された旨報告された。

報告事項 3. 第 88 回定時総会・令和 5 年度春季講演会・見学会（報告）

春季講演会については 120 万円の黒字、内訳を見ると地方開催による助成金が最も大きい要因であった。

報告事項 4. 将来像検討会議

6 月 6 日の総会で CCS 委員会の設立が承認された、これまで将来像検討会議で CCS 委員会の活動内容について検討してきたが、今後は委員長の長縄先生、副委員長に RITE の横井さん、JOGMEC の赤井さんをお願いし、技術委員会から各 2 名の委員を出して貰うようお願いした。7 月より活動を具体化することとなるが、将来像検討会議では手伝えるところがあれば検討する、また法人化については他学会にヒアリングを行い、また法人化の是非について検討を進めて行くことが報告された。

報告事項 5. 各委員会報告

CCS 委員会が 30 人を越えて大きな組織になりつつあるとの旨、連絡あり。

質疑応答

桐山：第一回の CCS 委員会は来週の火曜日。活動方針や秋季講演会にてどのようなサポートを行うかを話し合う予定。

4. 2023 年春季講演会対応について

学生優秀発表の講評対応済み：9月末の協会誌掲載予定。編集委員へ講評を引き渡し済み。

シンポジウム原稿査読について

提出され次第順次進めている。INPEX、JGCからの原稿が提出されていないため、同会社の方は執筆者にリマインド願いたい。

山崎副委員長：9/11にリマインド済み。追加の対応は何をすべきか。

久々宇委員：各社の生産技術委員から再度アナウンスをかけていただく形を取りたい。

・2024年度春季講演会のシンポジウム対応について

山崎副委員長より来年度開催へ向けて、内容の詳細に関する委員向けのアンケートを実施すること、またその結果を受けて構成・タイトルを決定する予定である旨、報告がされた。

アンケートの項目は昨年度と同様であるが、委員内での積極的なコメントを期待する旨、併せて連絡がされた。

アンケート項目については以下の通り

- ・シンポジウムの内容（発表形式含む）
- ・パネルディスカッション(座談会)の開催有無（アンケート結果としては賛意が多いとの補足あり。）
- ・リアルタイム Web 配信の必要性について（アンケート結果からはコストがかかるようだったら不要だという意見が目立った。）
- ・シンポジウムテーマに含めたい内容
- ・推薦したいシンポジウム講演内容・発表者について(自社他社問わず)
- ・その他コメント

今後の対応スケジュールについて以下の通り、前年のスケジュール感を踏襲する旨、報告がされた。

9月下旬：生産技術委員内でのアンケート実施

10-11月：アンケートを基にシンポジウム実施概要（テーマ・構成）を決定・講演者の調整・打診、必要に応じ再度推薦受付

24年1月：プログラム（案）作成

24年3月 事務局へ提出

質疑応答

山崎副委員長：2023年度の開催形態について、どのように決定したか。また来年度はどのように決定することが見込まれるか。

吉岡委員長：2023年度ではリアルタイムとオンデマンドともに実施した。本件については意見が理事会でも意見が分かれている。他のシンポジウムへ足並みをそろえる形がよいのではないかと考えている。

山崎副委員長：想定しているスケジュール感として、特に問題は無いか。昨年シンポジウム委員を務めた委員から所感を共有いただきたい。

荒木委員：昨年度のスケジュールについて、問題があったことはなかったが、パネリスト同士の事前打ち合わせの場がなかった点は改善点として挙げられる。

吉岡委員長：パネルディスカッションで話題にするテーマは先に決定していたのか、それとも講演者が決定してから構想していったのか。

荒木委員：基本的には講演者が先で、議題については直前まで議論していた記憶がある。

谷口委員：アンケート段階である程度テーマの絞り込みはあったものの、絞りすぎることによって講演者が限られてしまうことを危惧して、ある程度幅を持たせていた。

吉岡委員長：まずはアンケートを取って、皆様の意見を取った上で決めていくという進め方でよろしいのではないかと。

5. 次年度の委員会開催日・場所について

桐山委員より大学で開催予定である、次回と次々回の委員会に関する諸連絡及び依頼事項が以下の通り、報告された。

・大学以外の組織に所属する委員への依頼事項として、1か月前を目安に出欠可否のアンケートを実施予定である。

- ・当日までに10分以内程度の各企業紹介(業務やプロジェクト紹介)の資料作成
- ・就職活動が目的ではなく、業界を知ってもらうことが目的。

本件については、この委員会が終わってから九州大学・菅井先生および京都大学・村田先生と運営幹事間で別途調整を進める予定である。

	2023		2022		2021	
第1回	5月 11日 (木)	JOGMEC (ハイブリッド)	JOGMEC→オンライン	JOGMEC →オンライン	JOGMEC →オンライン	JOGMEC →オンライン
第2回	7月 6日 (木)	INPEX	ハイブリッド(INPEX)	INPEX→オンライン	INPEX→オンライン	INPEX→オンライン
第3回	9月 14日 (木)	JX	JX→オンライン	JX→オンライン	JX→オンライン	JX→オンライン
第4回	11月 2日 (木)	九州大学	ハイブリッド(秋田大)	秋田大→オンライン	秋田大→オンライン	秋田大→オンライン
第5回	12月 1日 (金)	京都大学	ハイブリッド(東北大)	東北大→中止	東北大→中止	東北大→中止
第6回	1月 11日 (木)	出光	ハイブリッド(CIECO)	CIECO→オンライン	CIECO→オンライン	CIECO→オンライン
第7回	3月 7日 (木)	JAPEX	ハイブリッド (JAPEX技研)	JAPEX→オンライン	JAPEX→オンライン	JAPEX→オンライン

村田先生：コメントになるが、観光客が多いので早めに宿を抑えておくことを推奨する。

6. 話題提供

国内生産操業現場におけるドローン利活用の検討状況について

以上